

# 古文書を読む会学習記録

作成日 令和 元年12月13日

開催日	令和 元年 12月12日	時 間	10:00～12:00
場 所	区民活動センター	受講者	16名
講 師	真田 雅行氏	作成者	飯塚 玲子
テーマ	第一学習（磯子区久木堤家文書）③		
概 要	<p>星合様并 浦触 御用留 年寄磯右衛門(万延二辛酉年正月日より)</p> <p>1 星合様よりの手紙廻状 新年のあいさつ。磯子村他、五ヶ村。</p> <p>2 浦触 代官江川太郎左衛門様より 伊豆八丈島服部敬次郎預り御用船が、道部村で打立仰せつけられたので、武器や道具類を別船で遣わす。もし激しい風が吹いて浦々島々へ船が流れても、荷物を大切に粗略にせず、早速助け舟を出すようにする事。武州、相模、伊豆、国々浦々島々役人へ</p> <p>3 地頭所よりのお達し 辛酉 二月二十八日 年号改元 文久となる。</p> <p>4 地頭所様の用向種々相談したい。来る十一日四ツ時蒔田橋材木屋まで集まる様に。その時くわしい話をする。鴨居村磯子村矢部村田中村栗木村峰村名主中</p> <p>5 廻分 御用俵物差配人鮫屋金之助 武蔵、相模、伊豆、村々名主組頭請負人御用煎海鼠干鮑鱧鱒鶏冠草など未年より値段が高く買上られたが、出方が抄取らず取調中である。密売などの不正はしない様にする事。積送りする程の量が少ない鱧鱒は沼津宿池田屋が下買人なのでそこに売り渡すようにする。文久元年 三月 羽田漁師村他全 76 か村、浦、町へ。</p> <p>6 昨夕暮六つ時、小買の伝馬船一艘、艫一挺、苫八畳積入れていたのを停めておいたが流された。もし御浦方へ流れついたら、知らせてほしい。四月三日出</p> <p>7 四月五日出雲国大社配札磯右衛門取計らい錢三百文なり。</p> <p>8 四月七日戻り廻状一通。本牧村名主中添書付 走水适行 森村継</p> <p>9 五月十七日尾州御用浦触 白子伊三郎船、名古屋で公儀の御用材、御屋形御米など積み下っていたが、先月二十二日静岡沖合で難風にあい沈んだ。もし御用材等が流れてきたら拾い早速伊豆の下田町馬場七右衛門まで届ける様に。</p> <p>10 五月二十五日浦触 八丈島服部敬次郎預り御用船道部村で新規打立した。今般江戸へ下る時嵐など大風が吹いたら早速助船を出すように。江川太郎左衛門手附川崎俊平 伊豆相模武蔵右国々浦々島々役人中へ</p> <p>11 六月十七日 浦御触書本紙と継送書 森村より受取即刻滝頭村へ送る様に。</p> <p>12 今般 海岸や川筋等の取締のため評定所留役桜井久三郎他近く遣わされる、荒川利根川江戸川下総国海岸通り房州洲崎辺りまで、それより武州金沢村へ渡り海岸通り品川宿まで廻村する。その村々この廻状(途中次回)</p>		
次回予定	令和 1年12月 26日 10:00～12:00 於:区役所区民活動センター 第二学習 外国通覧(大黒屋光太夫帰国後の尋問)と処遇 ①		